



寝室



リビング：木製建具



リビングダイニング



木デッキと深い下屋

## 建築作品部門

## 低炭素型社会の推進

建築物の低炭素化の推進 低炭素型のライフスタイルの推進

## 神奈川県 平塚市

# 湘南の家（改修）

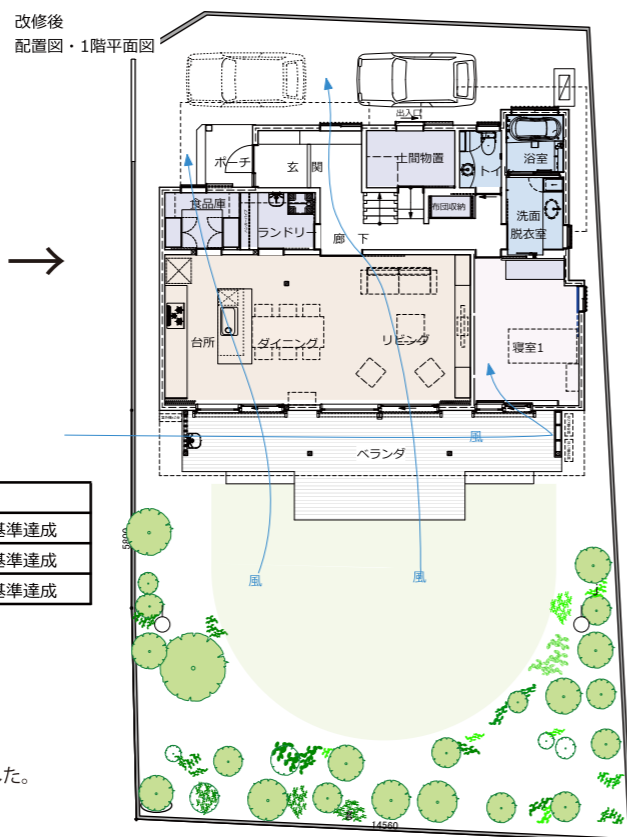
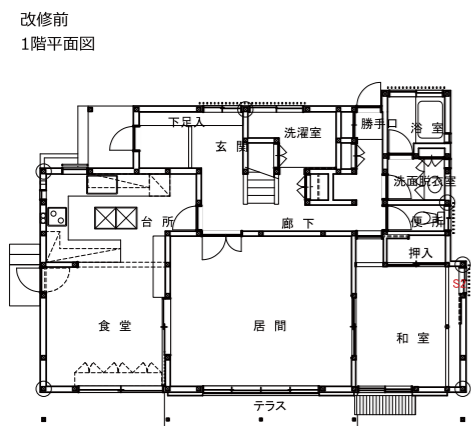
## 改修により環境負荷低減と健康な暮らしを両立 木質空間が醸す懐かしい湘南の風景

### ・外観デザインのイメージ

南面 既存の軽量鉄骨造バルコニーを撤去の上、南に広がる庭と住宅をつなげる中間領域としての下屋空間をつくり連続性のある空間をつくる。下屋空間は垂木・化粧野地板を現しにして室内とレベルをあわせた木デッキで広がりのある和の懐かしい空間の創出を心がけた。

### ・内観デザインのイメージ

生活の不便さを解消して、夫婦二人の生活に合わせたくらしができるよう、リビング・ダイニング・キッチンオープンワンルームとして明るいモダンなデザインとしている。オープンキッチンと連続した食品庫とランドリーをキッチンゾーンに隣り合わせて作り家事を快適にたのしめる計画にした。1階の内部建具は必要に応じてあけたままでも不便のないようすべて木製引き戸としてガラス面は安全性を配慮して飛散防止フィルムを貼り、部屋の用途により不透明としている。



	基準値	設計値	
外皮平均熱貫流率UA値	0.87W/m <sup>2</sup> K	0.79W/m <sup>2</sup> K	基準達成
平均日射熱取得率ηA値	2.80%	1.50%	基準達成
1次エネルギー消費量	105.6J/(戸・年)	96.5GJ/(戸・年)	基準達成

準防火地域  
 ・下屋（増築部分）  
 屋根：フッ素ガルバニウム鋼板平葺  
 垂木化粧野地板現し 野地板 杉材トリウッドパネル(A)30本実加工  
 告示（平成12年建告1358号 改訂平成16年告示789号）  
 ・開口部  
 南面延焼のおそれがある部分の開口部は防火設備とみなす袖壁で木サッシとした。  
 告示台9号の二、三 令第109条第2項

既存の住宅の省エネルギー性能の向上は、新築住宅に対する以上に重要である。

築35年の住宅。子供が独立して夫婦2人が高齢を迎える今後の生活の為に、建替か改修かを何度も話し合い、既存の家の状態が良好であったため、同じ予算でお金をかけるなら上質の仕様を選択できることから、南面の下屋の増築を含む改修工事を行うこととした。

環境負荷が小さく、自然や人間に優しい材料を選定し、平面計画の変更以外では解体ゴミを無駄にださないよう努めた。将来の解体時においても産廃ゴミとならない材料や工法で計画している。ゴミをなるべくださない工夫をしたことでコストが削減され、その分も含めて上質な仕様を選択できた。外皮性能は旧省エネ程度であったため暖冷房費が高く、冬期の暖冷房をしない廊下などは外気温に近い状況であったが、断熱改修と自然素材の採用で室内環境は心地よく良好になり、エネルギー消費量も低減した。



応募代表者：篠 節子

一級建築士事務所 篠計画工房

日本女子大学家政学部住居学科卒業  
 アルセッド建築研究所に27年在職  
 2009年より篠計画工房を開設

・建築設計では建物の用途特性と発注者・利用者の要求条件を充分分析の上計画すると共に、風土・歴史・文化について理解し地域の景観になじむ設計をおこない、耐久性の高い安心・安全で環境にも充分に配慮をした上で豊かな営み・気持ちになる空間デザインの創出を心がけている。  
 ・建築家の立場から地球的視野に立ち、問題解決に努めると共に次世代の為に活力を生み出す建築・地域・社会創りが必要であると考え、自立循環型社会・低炭素社会の構築の研究と啓蒙活動を行っている。